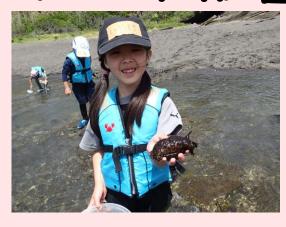
イベント報告

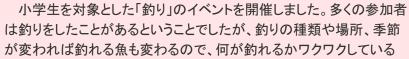


5月17日 岬の楽校 『目指せ☆海の牛き物博士』

今回の岬の楽校は、みんなで海の生き物探し!大房岬の磯場に棲むたくさんの生き物をみんなで調査しました。アメフラシやイソギンチャクなど、初めて実際に見たり、触ったりした生き物も多かったようで、子どもたちは終始興奮気味でした。そして、見つけた生き物について、図鑑で調べて絵や文章でしっかりまとめました。みんな、すっかり海の生き物博士です。

さて、次回の岬の楽校は 10 月 25 日(日)、今度は釣りに挑戦します!ぜひ一緒にチャレンジしましょう! 花嶋(ぽにょ)

5月23日(土)~24日(日)岬でフィッシング!! ~釣ってさばいて食べよう~





様子でした。エサを付けて仕掛けを海に投げて、どんな魚が釣れるか想像しながら、今か今かと待っている様子が 印象的でした。2 日目は頑張って早起きをして、朝釣りに行き、沢山の魚を釣ることができました。お昼には、自分た ちで釣った魚をさばいて美味しく食べました。

釣りをしたことがあっても、自分で魚をさばくのは初めてということで、実際にさばいて食べることで、命をいただいているということを感じてもらう機会になったと思います。釣りは身近な自然体験であり、誰でも手軽にできますの、で、皆さんも釣りを始めてみてはいかがですか?釣れた時の感触と喜びは忘れられませんよ。 日井(あつし)

ス知らせ

宿泊利用のツ予約について

「子ども会の行事で、夏の楽しい思い出を作りたい!」 「豊かな自然の中で、チームの仲間同士の親睦を深めたい!」 などなど…

と、いう思いで合宿等をご検討されている指導者の皆さまにお知らせです。 **ア成27年夏休み期間にまだ空きがございます!**合宿等の日程がまだお決まりでない団体の皆様、ぜひ大房岬少年自然の家をご利用下さい!!

また、**平成28年6月、7月のご予約も始まっています。** 来年度の日程をご検討されている場合はぜひお早めにご連絡ください!

詳細はお気軽にお問合せください。お待ちしております!

※ご予約は先着順です。お電話をいただいた際、すでに満室になっている場合がございますので予めご了承ください。

[発行元] 南房総市大房岬少年自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NPO 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23 メール: taibusamisaki@chiba-ns. net 電話:0470-33-456I FAX:0470-33-4564 ホームページ:http://taibusa.jp/ 【夏号/NO.78】



はなっと通信

たいぶさ大房岬の近況報告



大房岬の木々の葉の緑も濃くなり、気温も高くなり、いよいよ夏本番となりました!夏休みシーズンを目前に控え、自然の家では連日多くの方が宿泊やプログラムなどの利用をされています。

そんな賑わう夏を迎える前に、休所日などを利用してスタッフ同士でプログラムの研修を行いました。自然の家では磯探検ツアーやプラネタリウムなど、60を超えるプログラムを行っていますが、それぞれのプログラムの質の向上を図るために定期的に研修を行っています。研修ではプログラムの内容の見直し、1人1人のスキルの向上、自然情報の共有、安全管理の徹底など、より良いプログラムを

提供ができるよう、スタッフ同士意見を交換しながら行っています。また、研修では自然の家スタッフが 指導を行わないプログラムも実践しています。事前のプログラム相談で団体の方へ楽しさを伝えたり、色々 な提案を出来るようになるためです。自然の家に来られる皆さんが安全に楽しんでもらえるよう、日々プログラムは進化しています。夏に限らず、プログラムで相談などございましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

所長の目線

米を研ぐ、食器を洗う、風呂を流す、洗濯物をたたむ、掃除機をかける、雑巾がけなど、これらの家事を自分が手伝い始めた年齢を覚えていますか?雑巾を絞れない人が増えていますという話題を耳にして久しいですが、家事を手伝い始める年齢が高くなっていると思います。もしくは、手伝ったことがないという人が、そのまま成人しているというのが現状かもしれません。

家事が出来ないことがなぜ悪いの?掃除も食器洗いもロボットがやってくれるじゃないか?そんなに言うならロボットなんか開発するなよと言われそうですが、私は違うと思います。そもそも家事の手伝いは親が



子供に伝えたい思いが現れた一つの形だと思うのです。子供は、出来ることが増えれば、その分世界が広がります。家を出て一人で暮らすころには、親のおかげで一通りの生活力が身についている。それが当たり前だったように思います。まるで完璧な親かのように、この文章を書いている私自身、11歳と8歳の娘にそのと思いをきちんと伝えられているかと問われれば、少し痛いところもあるのです・・・。



●休所日情報● 7月~9月の休所日は次の通りです。7月17日(金)~19日(日)、8月31日(月)~9月2日(水)



プログラム紹介

★磯遊び★

大房のおすすめプログラムと言えば、やっぱり磯遊び。特に夏の時期は大人気です。潮が引いている時を をねらって磯場に行くと、たくさんの生き物に出会うことができます。

網を使ってカニを捕まえようとしたり、箱めがねで海の中を泳ぐ魚を観察したり、ドキドキしながらイソギンチャクを人差し指で触ってみたりと、みんなあっという間に夢中。普段なかなか実際に見たり触ったりすることのできない生き物を目の前にした子どもたちの顔はとても輝いています。

ぜひ、大房岬の海で生き物の不思議、面白さに触れてみてくださいね。









ほら、捕まえたよ

どんな生き物がいるかな…?





夏の旬野菜



これからの時期は暑い日が続きますので、夏バテに注意が必要です。夏バテせず、暑い夏も元気に過ごすためには、旬の食材を食べることがオススメです。旬の食材には、この季節の気温に合わせて生長するとともに、人間に足りないものを補う働きがあり、味もよく栄養価がとても優れています。夏の旬の野菜は、なすやきゅうり、かぼちゃなど様々なものがありますが、特に栄養価が高い「トマト」を紹介します。

「トマトが赤くなると医者が青くなる」という言葉があるくらい、トマトには、たくさんの栄養がつまっています。ビタミン $A \cdot C \cdot E$ 、リコピン、カリウム、食物繊維、鉄分、カルシウム、クエン酸などが含まれていますが、中でも「**リコピン**」には、抗酸化作用が強く、生活習慣病予防や夏バテにも効果があると言われています。

大房食堂ではトマト以外にも旬の食材を多く取り入れたメニューを提供していますので、残さず食べて夏の暑さに負けぬよう元気に過ごしましょう! 臼井(あつし)

野游び日和

夏は海の中へ



夏の南房総と言えば、やっぱり海遊び。水は綺麗で、さまざまな海中環境があり、房総半島のすぐそばまで黒潮がやって来ます。そのため多種多様な生き物たちが住み、夏には南からの来客もあります。熱帯魚たちです。冬場は水温が下がるので越冬できず死んでしまいますが・・・。死滅回遊魚と言われる魚達です。東京の近くに

こんな綺麗な海があるなんて、 と必ず思うはず!海中散歩を する際にうってつけの遊びが

スノーケリングです。マスクとスノーケル、そしてフィンをつけていざ海の中へ!!個人的にはスノーケリングのさらに上のスキンダイブやドルフィンスイムに興味津々です。海の中をのぞきこんでみると、そこには・・・。是非とも自分の目で確かめてみて下さい。



香山(かやまん)

神房総の匠に聴く

vol. ⑩「鴨川陶芸館」館長

Q:鴨川市に移り住み、

<u>鴨川陶芸館を始めた理</u> <u>由・きっかけを教えて</u> ください。

現代社会の科学の発展 するスピードは速すぎま せんか。その反動で様々 な環境問題、人体のスト レス、健康問題等発生し ております。



私の場合は自然と共存したスローライフで土を練り、作陶し、土を耕し、野菜を作り、生き物を飼う(錦鯉、ニホンミツバチ)、そのような生活の日々です。鴨川陶芸館の開設は22年前に理想的な環境を求めて、鴨川市郊外の里山に移住し、地元の素材を使った作陶・陶芸教室・体験陶芸の受け入れを行っております。

<u>Q:鴨川陶芸館ではどんなプログラムができるのかを教えてください</u>

限られた時間の中で土に触れ、自らの手で作陶し作る楽しみ、出来上がった時の満足感、焼きあがってお手元に届いたときの感動、又、日々使う楽しみ、これらを通して使い捨てない本物の器作り、物を大切にする心を養っていただければ最高ですね。体験プログラムは、絵付け・手びねり・電動ロクロを用意して自由に選んでいただけます。所要時間は1~2時間です。

Q:今後の展望や、挑戦したいことなどありましたら教えてく ださい

近年、個人、団体を含めて初めて焼き物をやってみたい、体験したい利用者の方が年々増えております。又、リピーターの方もたくさんご利用いただいております。学校関係の教育型体験では今年度新しく利用申し込みをいただいた学校も5校増え、今後の取り組みとしてプログラム、内容の充実を図っていきたいと考えております。

Q:ニュースレターを読まれている方に一言お願いします

飾りものでなく、日々使っていただける作品の企画、ご指導 に努めています。里山の緑、空気のうまい鴨川陶芸館に是非お 越しください。

※体験について、詳細は大房岬少年年自然の家、もしくは直接お問合せください! 」

鴨川陶芸館 電話:04-7098-0012

たいぶさ樹木ずかん

カラスザンショウ (ミカン科サンショウ属)



高さ15mほどになる落葉高木。とげが多く、里山では邪魔物としてすぐに切られてしまいますが、大房岬では高く生長した姿を見ることが出来ます。香辛料で使われる「サンショウ」に葉が似ていることからこの名がつけられましたが、サンショウよりも独特の匂いがします。どんな匂いがするのか、ぜひ葉をもんで嗅いでみて下さい。そして園内にはサンショウの樹もあるので葉の嗅ぎ比べも楽しいですよ♪

山崎(だいすけ)

場所:自然公園入口など

スタッフのつぶやき

テーマ「夏祭りの思い出」スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

お祭りに行くと、必ずクレープとベビーカステラを買って食べていました。 臼井(あつし)

小さい頃に住んでいた京都での地蔵盆。くじ引きが楽しみでした。 香山(かやまん)

山車を引っ張って、太鼓を叩いて、地域が一体 となる年に一回の大イベント! 白井(ねぎ)

田舎の花火大会。クライマックスの20:45. 火薬と焼き鳥の匂い。たまらん! 神保(ジン)

金魚すくいでゲットした金魚を家で飼って、餌を 上げるのが楽しみでした。 花嶋(ぽにょ)

林檎飴・太鼓の音・神輿を担いだ翌日の肩の痛 さ。うん、田舎の祭りだなぁ~。松田(料理長)

お小遣いを貯めて夜店で買い食い!今でも夜店のたこ焼きはそそられます。 山崎(だいすけ)